



平成 28 年 第 1 号

平成 28 年 7 月 5 日

おきたま つや姫だより

オールやまがた米づくり日本一運動置賜地域本部

つや姫の生育状況（6月30日現在）

指標と比べ、草丈は並みからやや長く、莖数は並みからやや少なく、葉数は並みからやや多く、葉色は並みからやや濃い状況です。今後も気温が高く経過すると予報されているため、さらに生育が進み、出穂が早まる見込みです。

() 内は指標比・差

6月30日現在		草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	川西町	44.0(92%)	439(88%)	8.9(-0.4)	42.5(+2.5)
	飯豊町	51.0(106%)	494(99%)	10.0(+0.7)	40.8(+0.8)
	指標	48.0	500	9.3	40.0

中干しを行っていないところは、直ちに中干しを行いましょ！

中干しは田面に小ヒビが入る程度を基本とし、生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めに行い、生育量が小さい場合や葉色がさめかかっている場合は弱めに行いましょう。

出穂早まる！早めの穂肥診断、穂肥は遅れず実施！

穂肥の目安 予想出穂期 8/10（平年 8/12）穂肥時期の目安 7/11

○全量出荷基準（玄米タンパク値）を達成するため、葉色、莖数を確認し、適正な追肥を徹底しましょう。

【m²あたり籾数が 600 本/m²以下、葉色が 39 以下の場合】

→出穂 30 日前に窒素成分 **1.5 kg/10a**

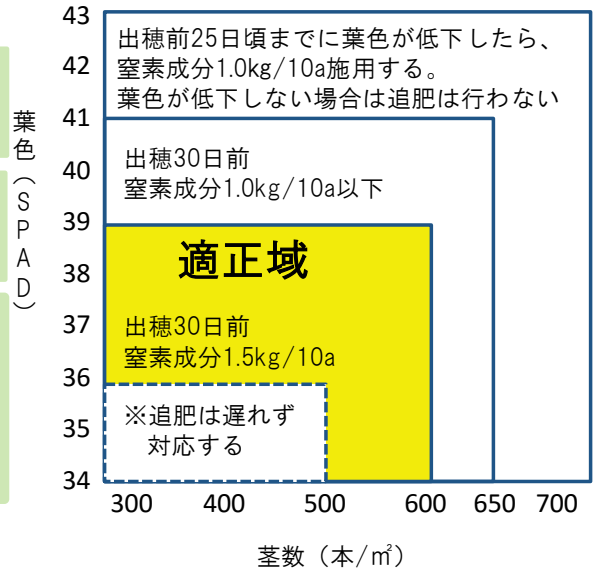
【m²あたり莖数が 600~650 本/m²、または葉色が 39~41 の場合】

→出穂 30 日前に窒素成分で **1.0 kg/10a 以下**

【m²あたり莖数が 650 本/m²以上、または葉色が 41 以上の場合】

→出穂 25 日頃まで葉色が低下したら窒素成分で 1.0 kg/10a の施用とする。
葉色が低下しない場合は追肥を行わない。

【10葉期の生育診断】



いもち病・斑点米カメムシ対策は万全に！

- 梅雨の時期は発病に好適な気象条件となるため、葉いもち病の発生に注意が必要です。圃場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。
- イネ科雑草が繁茂している畦畔・農道等の草刈りを地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょう。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。水田内の残草処理も徹底（除草剤の使用時期を確認）しましょう。

STOP！農作業事故！

- ◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎暑い日が続いています。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～